

【中間見直しについての委員からの意見と対応について】

委員等の意見	指摘事項への対応
資料3-1の8ページ(7)養育支援訪問事業および要保護児童対策地域協議会その他による要保護児童等に対する支援に資する事業 「訪問延人数から実人数に見直し」を行ったとありますが、国の指示により見直しを行ったのでしょうか。実人数の記載は、わかりにくい印象があります。	計画策定時の量の見込みにつきましては、国の指示により実人数で見込んでおりました。本会議への実績値の報告の際に延人数で報告していましたが、中間見直しにつきましては、実績値の実人数を勘案し、計画策定時の国の指示である実人数により見直しを行うものです。
資料3-1の3ページ(1)利用者支援に関する事業(利用者支援) 新規事業になっていますが、どういった内容でどこで実施する事業でしょうか。	現在の母子保健事業をさらに強化し、支援プランの作成等を行い、よりきめ細やかに妊娠期から子育て期の切れ目のない支援を保健センターで母子保健型として実施する予定です。平成30年度より子育て世代包括支援センターの設置を予定しております。
資料3-1の12ページ(11)妊婦健診 出生の見込み人口からは見直しの数値が多いように思います。見直しの根拠を教えてください。	計画策定時の量の見込みにつきましては、年間妊婦見込数で策定しておりましたが、妊婦健診につきましては、妊娠から出産まで年度をまたいでの受診も多く、各年度に1度でも受診した場合も、実人数に計上されることから、実績値を勘案し概ね1.5倍の人数となる見直しとなっております。